

別添6-5 (第3の2関係)

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書 (令和2年度)

都道府県名 北海道

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績 (円)	うち交付金相当額 (円)	
I 日本版畜産GAP指導活動の推進	40 経営体	57 経営体	142.5%	A	4,592,221	4,592,221	
II 日本版畜産GAP等認証の取得拡大	5 経営体	6 経営体	120.0%	A	899,000	817,273	
<p>事業の成果</p> <p><日本版畜産GAP指導活動の推進></p> <p>○ GAP指導の中心的な役割を担うJA営農指導員や農業改良普及指導員を対象に育成した畜産GAP指導員(35名)が、農業者のレベルに応じて指導をすることにより、目標を超える57名の農業者が畜産GAPを実践する(「GAPをする」)ことができた。</p> <p><日本版畜産GAP等認証の取得拡大></p> <p>○ 畜産GAPの認証取得を志す農業者及び農業教育機関に対して、各地域に配置した畜産GAP指導員等が指導した結果、5経営体の農業者と1農業教育機関が認証を取得した。</p>							
<p>都道府県による評価</p> <p>○ 畜産GAP指導員の育成に向けた基礎研修会や地域関係者に対する研修会の開催を通じて、道内の指導体制を構築するとともに、畜産GAP指導員等が、農業者の実践レベルに応じた指導を行うことにより、目標より多くの農業者がGAPを実践する(「GAPをする」)ことができた。</p> <p>また、一部の農業者が畜産GAP認証を取得する(「GAPをとる」)など、畜産GAPの機運醸成と普及推進を図ることができた。</p>							
<p>国による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・35名の指導員が育成されるなど、道内の畜産GAP指導体制の強化が図られた。 ・成果目標の達成状況は計画以上であることから、畜産GAPの拡大及び推進に寄与したものと史料。 							